

第7回関西環境教育合同研究大会のご案内 (第2報)

○開催日：2024年2月24日(土) 9:30~16:00 (9:00 開場)

○開催地：和歌山信愛大学(〒640-8022 和歌山市住吉町1番地) 2号館

○テーマ「環境教育の視点から防災・減災教育を再考する」

○大会趣旨

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年までに持続可能でより良い社会の実現を目指す世界指標であり、環境と調和した科学技術の開発や社会の発展のための目標です。自然や地球環境は、人間に対してさまざまな恵みを与えるだけでなく、時には自然災害という深刻な被害をもたらします。日本は昔から地震や暴風雨に襲われてきましたが、そこから防災・減災そして復興に関する教訓を得てきました。こうした自然災害への対応は持続可能な社会をつくるために必要であり、地球温暖化などの気候変動への対応にもつながります。現在の私たちの生活を維持しながら、世界の人々が未来にわたって地球上で安全に暮らし続けられる「持続可能な社会」を築いていくためには、防災・減災、復興を通して、自然や人、そして社会とのつながりを見いだしていくことが必要です。

そこで、第7回関西環境教育合同研究大会は「環境教育の視点から防災・減災教育を再考する」をテーマに掲げました。シンポジウムでは、「環境教育・ESD・SDGsと防災・減災・復興」についての話題提供、そして和歌山県での防災・減災教育の取り組みを踏まえて、学校現場での具体的な実践報告をしていただきます。さらにはこの実践をもとに大学での課題を報告していただきます。

一般研究発表では、現在さまざまな場で環境教育に取り組まれている皆さんからの研究発表を広く募集します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

2023年10月1日

実行委員長 秋吉博之(和歌山信愛大学)

○プログラム

9:00 大会受付

9:30 一般研究発表

12:00 昼食・休憩

13:00 開会挨拶

13:10 シンポジウム「環境教育の視点から防災・減災教育を再考する」

コーディネーター：秋吉 博之(和歌山信愛大学教育学部)

シンポジスト

藤岡 達也(滋賀大学大学院教育学研究科)

高橋 克行(和歌山県教育庁学校教育局教育支援課学校安全班)

上村 桂(和歌山県立熊野高等学校)

荻原 彰(京都橘大学発達教育学部)

- 14:30 休憩
- 14:40 パネルディスカッション
- 15:50 総括・閉会挨拶
- 16:00 終了
- 17:00 懇親会（南海電鉄和歌山市駅周辺で予定しています）

○参加費：一般・大学院生 2,000 円、和歌山県内公私立の園小中高教職員 1,000 円
大学生・専門学校生・高校生 無料（懇親会参加費は別料金）

○参加申込期限：2024 年 2 月 10 日

※参加人数把握のため、可能な限り事前の参加申込をお願いします。当日参加も可能です。なお、この研究大会について参加および研究発表は対面のみとなっております。

○参加申込

参加申込は以下のフォームからできます。QR コードもご利用ください。

参加・研究発表申込フォーム <https://forms.gle/CUyP9U8eBK99N71g8>

○主 催：一般社団法人日本環境教育学会関西支部・関西環境教育学会

○後 援：和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会

○協 賛：和歌山信愛大学きょう育の和センター



○和歌山信愛大学地図（南海本線 和歌山市駅より徒歩 約 13 分、JR 紀勢本線 紀和駅より徒歩 約 12 分）



○和歌山信愛大学キャンスマップ（研究大会会場：2号館）



＜参加者のみなさまへ＞

1. 食事について

- 大学内には食堂、コンビニはありません。昼食はご持参いただくか、近隣のコンビニ等をご利用ください。
- 昼食を館内で召し上がる場合は、2号館1階の「参加者控え室」が利用できます。なお、ごみはお持ち帰りください。

2. 交通経路について

- 大学へ公共交通機関をご利用になるか、車でお越しの場合は、大学南側の和歌山市営本町地下駐車場（有料）が利用できます。

3. 喫煙について

- 学内は禁煙になっておりますので、おタバコはお控えください。

○会場見取り図（2号館）

研究発表会場ABC、シンポジウム会場、参加者控え室、談話室など

1階



2階



3階



研究発表プログラム

A会場（3階、講義室4）「防災教育／減災教育／安全文化教育」

座長：中野・松田

No.	発表時間	発表者 題目
A-1	9:30～10:00	福島 古（GEC） 「安全文化教育の展開とその諸問題について（9）」
A-2	10:00～10:30	前田 良治（株式会社チクマ） 「非常時と衣服」
A-3	10:30～11:00	松田 聡（伊川流域研究会/兵庫県災害医療コーディネーター） 「外部環境と内部環境：ふたつ環境の間を考えるー災害時に命を救う活動を通じて考える環境教育ー」
A-4	11:00～11:30	○松重 摩耶 宮内 尚輝 上月 康則 山中 亮一 （徳島大学環境防災研究センター） 「海辺の環境教育と防災教育について」
A-5	11:30～12:00	山崎 博史「防災教育とジオエシックス」

B会場（3階、講義室5）「食農教育／自然／植生／農的な暮らし／民俗」

座長：森本・田端

No.	発表時間	発表者 題目
B-1	9:30～10:00	田端 祐介（大阪府立大阪わかば高等学校） 「都市部の単位制普通科高等学校における食農教育の試み」
B-2	10:00～10:30	天野 雅夫（神戸親和女子大学非常勤） 「地域の自然と環境教育～自然環境のとらえ方をめぐって～」
B-3	10:30～11:00	中川 宏治（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター） 「植生の遷移が自然体験活動に及ぼす影響」
B-4	11:00～11:30	本庄 眞（奥吉野自然研究会主宰） 「奈良県十津川村における『自然と人の関わり』の変遷を 探求する試み～林宏の調査記録『十津川郷採訪録Ⅰ～Ⅲ』 （1959～1979）を基礎に～」
B-5	11:30～12:00	牧 宏（なごや環境サポーターネットワーク） 「農的な暮らしづくり-都市と農村(都市周辺地域)をつなぐ-」

C会場（2階、講義室2）「気象／宇宙／プランニング／テクノロジー」

座長：水山・植田

No.	発表時間	発表者 題目
C-1	9:30～10:00	植田 善太郎（元泉大津市立小学校） 「星空観望会の教育的意義」
C-2	10:00～10:30	東 照晃（信太の森養蜂園） 「レイチェル・カーソンと化学物質」
C-3	10:30～11:00	石井 巧（笠松町立笠松中学校） 「気象観測はどう扱えばよいのか？－中学校理科における文献調査を中心として－」
C-4	11:00～11:30	○佐々木 啓・大浦 由美（和歌山大学観光学部） 『林業×地域』の再発見による地域将来ビジョンの策定とシナリオプランニング～和歌山県旧龍神村における和歌山大学観光学部の地域連携教育～
C-5	11:30～12:00	○中村 和彦（東京大学）・宮島 衣瑛（学習院大学）・藤原 章雄（東京大学）・斎藤 馨（東京農業大学） 「開花フェノロジー観察用 Web アプリケーションの開発と小学校における気候関連学習への応用」

<発表についての注意事項>

*発表時間は20分、質疑応答10分（合わせて30分）になります。呼び鈴は、17分経過（1鈴：口頭発表終了予告）、20分経過（2鈴：口頭発表終了、質疑応答の開始）、30分経過（3鈴：発表終了）になります。

*発表者は自分の発表開始の少なくとも30分前までに会場にお入りください。

*学内の無線LANアクセスポイントは、セキュリティの観点から使用できません。必要な方はポータブルWifi等を各自でご持参ください。

*発表者は基本的にPCまたはタブレット等を持参ください。プロジェクター、教材提示装置、HDMIケーブルは各教室に設置しています。発表者持参のPCと教室備え付けのHDMIケーブルとの接続については、持参の機種に応じて、次の「変換ケーブル」等を用意してください。

・HDMI端子のないPCやタブレット：USB接続(typeAもしくはC)－HDMI端子（メス）

・iPad（旧型）：Apple Lightning－HDMI端子（メス）等

*別途配布資料がありましたら、各自で20部程度を印刷の上お持ちください。

○お問合せ先：関西環境教育合同研究大会実行委員会事務局

公式ホームページ：http://www.ee-kansai.com/joint_am/

メール ee.kansai@gmail.com FAX 078-431-1022